

東京2020パラリンピック News

本市に関する話題を紹介します。

News 01

オンライン応援で優勝後押し



ブラジルチームにエールを送る遠野高生徒

5人制サッカーの決勝が9月4日行われ、遠野高生徒や関係者約10人がオンラインによる共同応援を実施しました。駐日ブラジル大使館のほか、ブラジルのホストタウン自治体や対戦国アルゼンチンの関係者も参加。ブラジルの優勝が決まると、国旗やメッセージボードを掲げ喜びを分かち合いました。齊藤未優さん(遠野高2)は「ボールが見えてるかのようなプレーはすごかったし、かっこよかった。金メダルを持って遠野に来てほしい」と声を弾ませました。

News 02

本市出身 菊池&宮澤が大舞台で舞う



菊池さん

宮澤さん

写真提供 宮澤さん

電飾華やか菊池さん(前列右)と宮澤さん(前列左)

パラリンピック閉会式に本市出身で全国屈指の強豪・川崎渡田一輪車クラブ(神奈川県)のチーム「MIRACLE」に所属する菊池彩純さん(遠野高卒)と宮澤来実香さん(同)が出演。多様性と調和を表現した式典で華麗な一輪車パフォーマンスを披露しました。菊池さんは「参加できたのは、一輪車を続けられる環境や応援してくれる人などいろいろな人の支えがあったからこそ」と感謝。宮澤さんは「障がいがある人との共演で障がいを知り、相手のことを考えて動く大切さを学んだ」と振り返りました。



1_ 雄叫びを上げるジェフェルソン選手 2_ 決勝のアルゼンチン戦で厳しいマークをかくぐり、決勝点を挙げたノナト選手 3_ サイドフェンス際で激しく競り合うジャルジェル選手



↑チアゴ選手(左)とノナト選手

Game Result 試合結果

予選(上から順に8/29・30・31)

ブラジル	3	1-0	0	中 国
ブラジル	4	1-0	0	日 本
ブラジル	4	1-0	0	フ ラ ンス

準決勝(9/2)

ブラジル	1	0-0	0	モ ロ ッ コ
------	---	-----	---	---------

決勝(9/4)

ブラジル	1	0-0	0	アルゼンチン
------	---	-----	---	--------



5人制サッカーブラジル代表チーム

大会5連覇

東京2020パラリンピック5人制サッカーで、本市のホストタウン相手国

ブラジルが大会5連覇を成し遂げました。

ブラジル視覚障害者スポーツ連盟から届いたブラジルの雄姿と本市の話題などを紹介します。

●Interview



市パラリンピック推進室

室長 朝倉 優香

本市が交流するブラジル代表チームが優勝した直後、組まれた円陣の中心には市民の応援メッセージでいっぱい国旗がありました。

大会期間中は、市民の会話からも「パラリンピック」「ブラジル」「障がい」の言葉が聞かれ、本市の「違いを知り、尊重し、そして絆(つな)がる」取り組みの広がりを感じました。

絆(つな)がるために、一人一人ができることにチャレンジしましょう。共生社会の取り組みは、ここから本番です。

「我々の使命は金メダルではない。共生社会を広めることだ」。2年前に來遠したブラジルチーム関係者の言葉です。本市は国の▽共生社会ホストタウン▽先導的共生社会ホストタウンに認定され、心のバリアフリーとユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んできました。共生社会の実現へ、さらに歩みは続きます。

「ブラジルが東京2020パラリンピック5人制サッカーで、大会5連覇を成し遂げました。ブラジルは、日本を含む予選を3戦全勝で通過。続く準決勝のモロッコを1対0で破り、優勝に王手をかけました。決勝は世界ランキング1位・アルゼンチンとの南米対決。両チーム得点を許さず迎えた後半33分、2年前の事前合宿で来遠したノナト選手が巧みなドリブルで4人をかわし、左足でシュート。待望の先制点をゴール右隅へ決めました。この1点を守り切り、歓喜の瞬間を迎えました。大会は数々の感動を残し、幕を閉じました。自らの限界に挑戦し続けた選手たち。最高のパフォーマンスを発揮してくれたその姿は、私たちに希望と勇気を与え、共生社会の実現を目指す強烈なメッセージを伝えてくれました。

「我々の使命は金メダルではない。共生社会を広めることだ」。2年前に來遠したブラジルチーム関係者の言葉です。本市は国の▽共生社会ホストタウン▽先導的共生社会ホストタウンに認定され、心のバリアフリーとユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んできました。共生社会の実現へ、さらに歩みは続きます。